

2013年問題（高齢者と若年者の雇用確保の課題）に、町としての対応は



齋藤 成宏 議員（民主党）

町長 町民の雇用機会の創出に努めている

質問 老齢厚生年金の報酬比例部分の支給開始年齢引き上げが2013年4月からと目前に迫る中、8月に国会において、希望者全員が65歳までの雇用確保措置を義務付ける改正高年齢者雇用安定法が可決・成立した。高年齢者の雇用確保策の推進が強く評価される一方で、若年者への雇用の機会が失われることはあってはならない。町も住民に最も身近な基礎自治体として、すべての年代の方々へ就労支援を行う必要があると考えるが、

町長 この問題は、国が日本の経済展望と就業確保対策を示すことが不可欠である。



業務委託している「広報みずほ」の配布

町は、いち早く瑞穂ハローワーク求人情報コーナーを誘致し、各関係機関と共に地域雇用問題連絡会を組織して、再就職支援セミナーや就職面接会などを実施している。また、シブバー人材センターに対する業務委託を

拡大しているほか、大型商業施設をはじめとする各種企業に、町民の優先的雇用をお願いし、若者から高齢者に至る雇用機会の創出に努めている。

こんな質問もありました
バリアフリー法に基づく協議会の設置は

町長 町民参加型の「福祉のまちづくり推進協議会」の設置を計画。

都のヘルプカードの活用は

町長 災害時要援護者支援台帳の活用とあわせて検討する。

スポーツ祭東京2013の機運醸成について

小山 典男 議員（自民新政会）

教育長 各種事業を展開し、機運醸成を図っていく



宇津木氏を迎えて行われた体験塾の様子（二中体育館）

質問 第68回国民体育大会、スポーツ祭東京2013の開催まで300日余りとなった。実行委員会を初めとして、町体育協会、競技団体の方々のご尽力によって、競技施設の整備など開催に向けた準備が着々と進んでいる。競技開催区市町村や東京都が主催するイベントなどで、様々な国体PRが行われており、各市町村で盛り上がりを見せてきている。本番に向けて、町はどの

ようにこの大会への機運を盛り上げていくのか、考えを伺う。

教育長 町では、各種イベントで、マスコットキャラクター「ゆり」との活用など周知活動を展開してきた。また「国体リハーサル大会」などを開催し、ソフトボール競技の普及、周知を行った。

今後も、ソフトボール競技の魅力を伝えるため、元日本代表監督宇津木氏を迎え「ソフトボール子ども体験塾」など、ソフトボール教室の開催やウォーキングイベントなどの事業を実施し、スポーツ祭東京2013の機運醸成を図っていく。

発達障害支援の拡充を

下野 義子 議員（公明党）

町長 5歳児健診の導入は、考えていない



1歳6カ月児健診の様子（保健センター）

質問 発達の遅れのある子どもに対し、幼児期からその発達状況に合わせた療育をする事は、日常生活を営む上でとても大切な支援である。また、通級学級に通う子どもが増えている事を鑑み、就学する前に子どもの成長状況を確認し、発達の遅れなどがあった場合、適切な支援ができる様、親と各種機関が連携し対応していく事が必要である。そこで以下の点について町長の所見を伺う。

町長 母子保健法に基づき節目ごとの健診を実施し、発達などが気になる場合、月1回専門医の診察を行っている。また、保健師などによる面接や訪問を行い、保護者がいつでも身近に相談できる体制を整えているので、導入は考えていない。

問② 5歳児健診の導入を。
町長 母子保健法に基づき節目ごとの健診を実施し、発達などが気になる場合、月1回専門医の診察を行っている。また、保健師などによる面接や訪問を行い、保護者がいつでも身近に相談できる体制を整えているので、導入は考えていない。

問① 町施設に療育支援センター機能の付加を。
町長 発達障がい支援機能の拡充は重要な課題と認識しているが、新たなスタッフの確保やその他関連施策の実施を考えた場合、町単独での実施は

超高齢社会のまちづくり



高水 永雄 議員（自民新政会）

町長 今後の施策展開の中で検討する

質問 国の少子・高齢化とともに、町でも平成24年1月に65歳以上の人が町民全体の21.3%で超高齢社会となり、今後も増加傾向が続くと思われる。町は長期総合計画で「みらいにずっとほこれるまち」の実現を目指す

して各種施策を展開している。そこで、超高齢社会を見据えた行政改革など、誰もが解りやすいテーマなどを示し、まちづくりの推進を図るべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 医療や介護に関するセーフティネットは、町民だれもが健康で心豊かな生活を送るための基礎である。それを支える各種保険制度は使うほど負担が増える仕組みとなっており、そこで、24年度は保健師を増員し、特定健康診査をはじめ



庁舎に掲げられた町のスローガン

は、町民だれもが健康で心豊かな生活を送るための基礎である。それを支える各種保険制度は使うほど負担が増える仕組みとなっており、そこで、24年度は保健師を増員し、特定健康診査をはじめ

こんな質問もありました
町営グラウンドの駐車場確保を

教育長 駐車場に開する要望などはなく、施設利用時の駐車場の確保に混乱は見られない。